

第41回日本ストーマ連絡協議会 議事録

日時：平成31年3月26日(火)17:30-18:30

場所：アルケア株式会社 会議室

進行：ストーマ用品セーフティネット連絡会 当番幹事 アルケア株式会社

議事：ストーマ用品セーフティネット連絡会 副当番幹事 コンバテック ジャパン株式会社

参加：JSSCR-穴澤 貞夫、前田 耕太郎、幸田 圭史、大村 裕子 ※敬称略

JOA-谷口 良雄、川村 正司、須田 紗代子

OAS-福元真一(進行)、田代 浩一(議事)

合計9名

※配布資料：JSSCR「平成31年度災害対策ブロック代表者会議録」(添付pdf)

1) JSSCRより

幸田：2/22(金)・23(土)に第36回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会(JSSCR)と第11回アジアストーマ学会(ASSR)が大阪国際会議場にて同時開催され、無事終了した。学会の理事会・評議委員会において災害対策に関心がある人が増えており、地方の組織もまとまってきた印象がある。JOA50周年の祝辞原稿は、すでに提出させて頂いた。

大村：災害対策について(添付参照)

北海道ブロック代表の佐々木一晃先生がご逝去され、札幌医科大学外科の西舘敏彦先生が後任の代表に決定した。

全国13ブロックの副代表が決まっていないところがまだあるが、徐々に決定してきている。メールリストの完成もあと少しである。学会作成の災害対策リーフレットは2万部ほど在庫がある。学会事務局移転に伴い旧住所の記載であるが、コストもかかるので住所変更せずに無料配布する。

前田：2020年のAASRはインドで開催される。

その次は2021年に台湾で開催されるが、アジア太平洋大腸肛門病学会議

Asia Pacific Federation of Coloproctology (APFCP)と同時合同開催される事が決定した。

谷口：アジア・南太平洋オストミー協会(ASPOA)とも同時開催される予定でしょうか。

2) JOAより

谷口：先日のJSSCR大阪へは近畿地区の者と参加させていただいた。

6月開催の50周年行事に関しては、諸先生方々から原稿を頂いていて感謝申し上げます。

野洲病院院長の岡田裕作先生に原稿依頼をしているが、返事をいただけない。

オストメイト生活実態調査を行い、集計が間もなく終了する。会員には発送予定である。

前田：原稿に関し岡田先生の秘書に連絡を取られたらいかがか。調査結果に関しJSSCRのHPに掲載したい。

幸田：とても良いと思う。

谷口：JSSCR事務局の方に連絡する。

3) OASより

福元：ここ最近、大きな災害等起きていない。北海道胆振東部地震も大事には至らなかった。

引き続き会員会社やJSSCR大村委員長と連絡を取り、しかるべき対応を講じていく。

2019年度はコンバテックが当番幹事で副当番幹事はホリスターである。

大村：過去の災害でのOASが補償された人数などの経緯の集計が出来た暁にはJSSCRのHPに掲載したい。

川村：JOAのHPにも掲載したい。

福元：間もなく集計完成予定にて次回OAS総会で確定した後に掲載の承諾を得ることとする。

4) その他

穴澤：日本創傷・オストミー・失禁管理学会(JWOCM)の田中理事長から今後本連絡会会合に参加したいとの打診があった。田中理事長が参加するのであれば問題無いのではと回答している。

一同：災害時の混乱を避けるためにも情報共有は歓迎。異論なし。

幸田：第28回JWOCMにて私から田中理事長にお伝えする。

※次回開催日、2019年7月30日(火)17:30~ コンバテック社で開催。

以上

平成 31 年度災害対策ブロック代表者会議録

日時：平成 31 年 2 月 23 日（金） 8：15～8：45

場所：大阪国際会議場 11 階 1101-1102

出席：JSSCR 災害対策ブロック代表

【北海道】西舘俊彦 【東北】舟山裕士（宮城）柴崎真澄（福島）熊谷英子（宮城）

【北関東】山本亜由美（群馬代理）、松本厚子（群馬代理）、清水昌美（埼玉）、

別府 薫（栃木） 【甲信越】飯野 弥（山梨）、志村友紀（山梨代理）

【東関東】伊藤雅昭（千葉）、大塚真由美（千葉）、大原佑介（茨城代理）

【東京】船橋公彦、工藤礼子、佐藤裕子 【神奈川】野北陽子

【東海】中村利夫（静岡）、水島史乃（静岡）、松原仁美（岐阜代理）、梅枝 覚（三重）

【関西】南部真里恵（大坂） 【中国】岡島正純（広島）、澤井尚子（広島）

【四国】門田千晶（香川） 【九州・沖縄】石井美紀子（福岡）

【メーカー】田代（コンバテック）、松岡（村中医療器）、森田（コロプラス）

植木（イーキンジャパン）、佐々木（ホリスター）、井上（ソルブ）、福元（アルケア）

【理事長】幸田圭史 【委員】大村裕子、靱山こずえ、尾崎麻依子

欠席【北陸・上越】

配布資料：1. 議事予定 2. ブロック別連絡網

1. 各ブロックの災害対策連絡網の進捗状況

・ブロック別連絡網は完成に近づいてきているが、ブロック副代表（看護職代表者）の未選出、県代表者のメールアドレス未登録があるブロックは引き続き作業をすすめ、3月中旬までに災害対策委員の尾崎（ozaki041@med.teikyo-u.ac.jp）に報告することを依頼した。それ以降については、学会事務局に会員登録されたメールアドレスで災害対策委員会より問い合わせることが確認された。

・副代表選出は、今後日本創傷・オストミー・失禁管理学会（JWOC）とも連携していくことを考慮した選出を依頼した。

・県代表のメールアドレス登録が完了した後は、事務局よりブロック長と県代表へ情報の配信をしていく予定であることが報告された。

・現在は都道府県までの連絡網作成であるが、今後は都道府県以下についても地域分けし、拠点施設の選定を行い災害対策委員に報告してもらおう。例として東京都と神奈川県連絡網が挙げられ Gmail や Facebook を活用し情報共有されていること、これまでの災害対策活動については学会 HP を参照してもらいたいこと等が報告された。また支援助物資が運ばれることが多い都道府県内の販売店の把握についても依頼した。

2. 災害対策リーフレットの配布について

・これまで地域講習会、研究会で無料配布してきた災害対策リーフレットを、今後は病院関係の希望者にも無料配布をしていくことが報告された。事務局が「愛知がんセンター」と印刷されている在庫が2万部程あるが、内容変更には費用がかかるためそのまま使用とする。学会HPに入手方法を掲載する予定なので、地域で活用して欲しいことが説明された。

3. ストーマ用品セーフティネット連絡会 (OAS) について

・今年度の代表は福元さん (アルケア)、来年度は田代さん (コンバテック) となることが報告された。

4. 各ブロック活動状況報告

【北海道】ブロック代表が佐々木一晃先生から西舘敏彦先生に変更になった事が報告された。(災害対策委員会企画内でブロック長西舘敏彦先生よりご講演いただいた)

【東北】代表は全て確定し運用できている。蔵王山噴火についても対応できていた。

【東関東】世話人会で承諾をもらい連絡網が完成した。災害対策リーフレットも配布した。

【北関東】代表者欠席

【甲信越】具体的な活動はこれからとなる。今後拠点病院の備蓄について検討していく。

【東京】連絡網が完成したため、今後具体的に運用をすすめていく。

→東京都として備蓄することが決まり、3月に予算が通る予定がある。事業モデルとして東京から全国に広げていってほしい (大村委員長)

【神奈川】連絡網の運用がすすめられている。

【東海】顔なじみのメンバーでもあり情報共有はできている。

【関西】各県代表の選出はできている。大阪の中で拠点病院を検討中でありすすめていく。

【中国】広島で行政と関わりを深め活動を広めていこうと思っている。災害が発生した場合はどこに連絡したらよいか?

→現在は大村委員長が取り纏めているが、今後は事務局とも連携し、整備していく予定である。

【四国】愛媛災害では装具が足りずDMATから支給してもらったことがあった。香川県では県代表者も置いているが、ワーキンググループや販売店とも連携している。

【九州・沖縄】各県代表の選出はできている。これまで多くの災害が発生しているが、情報がJSSCR、JWOC、日本褥瘡学会のどこからの発信か分かりにくい部分があった。